区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員
斉藤 くに子
区政ニュース

メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp
区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/

2019年1月20日No1171号

区役所直通3802－4627
fax3806－9246

★法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は第４月曜日

1月２８日(月)

★荒川区荒川7－37－1(コミバス花の木停留所前)
TEL Fax３８０６－５１３４
★生活相談は随時相談にも応じます。ご連絡ください。
★定例日以外で弁護士相談が必要な場合は日中で**弁護士事務所の予約を取りますのでご連絡ください。**

ご意見ご要望

○４月２１日が区議会議員選挙の投票日だと聞きました。
あなたのニュースを読み始めてから区のことがよくわかります。
頑張ってください。
○いろんな層の要求を聴いて区政に届けてください。

2019年成人のつどい

新成人の誓い

二峡小の合唱

写真は区提供
サンパール大ホールの式典

十年後の自分に一言

三二バーティで

実行委員会で決めたテーマ

2019年「全ての出会いに感謝～いままでもこれからも～
2018年「The beginning of『　　』」
2017年「原点回帰　one step forward」
2016年「繋がり　すべての“であい”に感謝」
2015年「Open the Door　ここから　また　つながる」
2014年「未来への船出　いつやるか　今でしょ」
2013年「飛翔からハタチ、いっきまーす」

世田谷区 就学援助の基準引上げ検討

1998年4月2日～1999年4月1日に生れた方
１９４９名(男性1,038名 女性911名)
うち外国籍の方は551名(28.27%)

世田谷区が新年度、就学援助を拡充する方向で検討を進めているそうです。下記の引上げで区の試算では制度の周知と合わせて、利用者は現在の２倍になると考えています。

日本共産党荒川区議団も一貫して基準引上げの質問をしていますが、他区の状況も調査研究し、実現を迫っていきたいと思います。

①就学援助制度の所得基準を、現行の基準(生活保護基準の1.24倍、給与収入約545万円）から、国の高校授業料無償化のモデル基準（生活保護基準の約1.4倍相当、給与収入約590万円)まで引き上げる。
②給食費の補助は所得基準を東京都授業料無償化基準(給与収入760万円)に引上げる。

また荒川区でも給食費補助部分だけでも、所得基準を引き上げる検討を求めていきたいと思います。

日本全国の17才～19才(18才世代)から、さまざまな熱い想いがこめられた動画を募集、RADWIMPSがその想いを受けて楽曲を制作。選ばれた1,000人の18才世代たちと1回限りのステージ"RADWIMPS 18祭"で歌われた曲「正解」を聴いた。

あぁ 答えがある問いばかりを教わってきたよ
そのせいだろうか
僕たちが知りたかったのは いつも正解など まだ銀河にもない
あぁ 答えがある問いばかりを教わってきたよ
そのせいだろうか
僕たちが知りたかったのは いつも正解など大人も知らない
あぁ 答えがある問いばかりを教わってきたよ
だけど明日からは僕だけの正解を いざ探しに行くんだ
また逢う日まで

次の空欄に 当てはまる言葉を書き入れなさい
ここでの最後の問い
「君のいない明日からの日々を
僕は／私は きっと□□□□□□□□」

制限時間はあなたのこれからの人生
解答用紙はあなたのこれからの人生
答え合わせの時に私はもういない
だから採点基準はあなたのこれからの人生
「よーい、はじめ」

右記の歌詞は抜粋だが「答えがある問いばかりを教わってきたよ」が大人の私にズシンときた。
若者たち、新成人の皆さん、人とは比べない、あなたの人生、自由に花開くことを願う！！

安心して学べる環境を

若者に負担を強いる高学費の値下げと奨学金の改革は待ったなしです。安倍政権の下で、私立大学の授業料は６年連続値上がりして過去最高を記録しています。

国立大学でも値上げの動きが出ています。学生の多くが奨学金を借りざるを得ず、数百万円もの負債を背負わされています。

学費無償を掲げる勢力が若者の力で躍進し、米ニューヨーク州では、昨年から公立大学の無償化が実現しました。イギリス政府も高学費見直しを言い初めています。

乳児健診の場所を調査しました

荒川区の3.4か月赤ちゃん検診はがん予防健康づくりセンターの地下で行われています。

そもそもは「がん検診センター」として建設した建物に保健所も移転。検診時にその都度、長机やベッド、マットなどをセッティングしているようです。

真四角ではない変形のスペースで、どうスムーズに気持よく検診を受けてもらえるか、現場職員のみなさんが工夫しています。

いざという時の避難階段

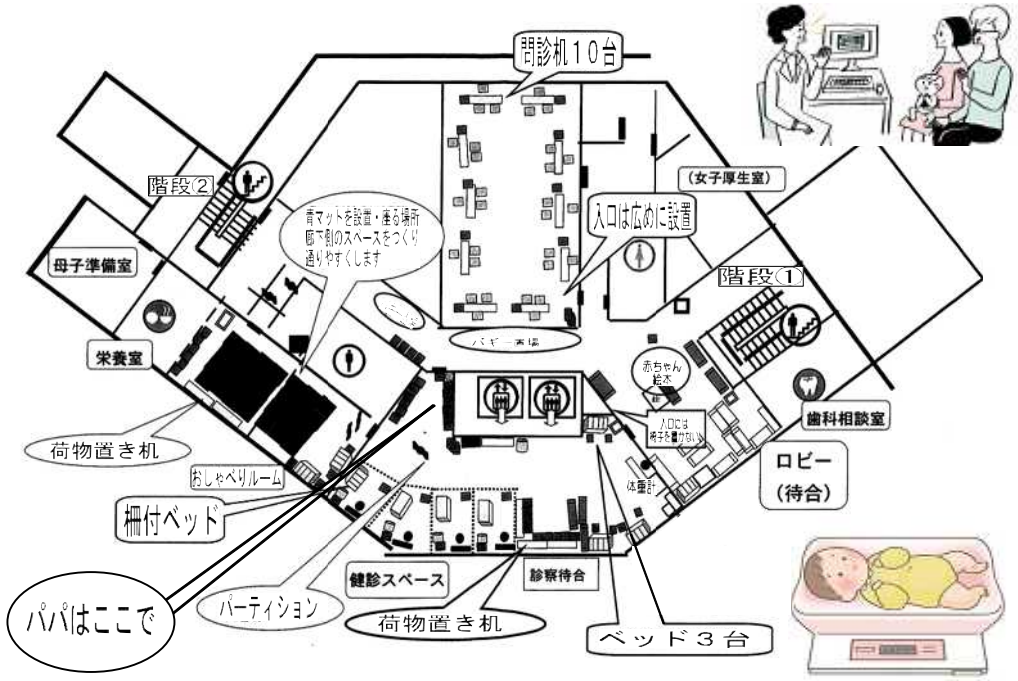
そんな中で、チョッと気になったのが、地上への避難階段となる一つ(階段②)は、栄養室の奥です。チョッと心配です。

パパの居場所を

また検診が終了し赤ちゃんに洋服を着せる・おむつを変える・授乳する、ママたちがおしゃべりする・情報交換をする場所：おしゃべりルームには授乳場所が一緒のため、パパは入れません。

外国人も増えていますが日本語がまだちょっと心配のママといっしょに来たパパ、パパだけで検診に来た方の居場所は片隅です。何か工夫できないかなと思いました。

赤ちゃん保健検診子育てセンターなどの検討も必要かもしれません。



補聴器の普及のために 公的補助の拡大と国家資格を

日本補聴器工業会などの調査で補聴器を使うことが生活向上に役立っていることが浮き彫りになっています。しかし日本ではなかなか普及しません。

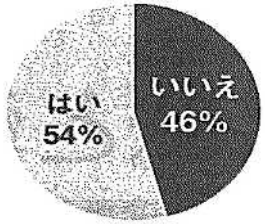
補聴器の使用には調整が大変大事で、３回～１０回必要です。欧州諸国では国会資格を持つ補聴器と聴覚の専門家が耳鼻科医を連携して調整にあたりますが、日本には民間の認定技能者の制度だけです。

また補聴器は高い。１台平均１５万円で４０万５０万もあります。補聴器装用費用も欧州では個人負担がないか、少額です。こうした仕組みの違いが普及率を低くしています。

荒川区でも高齢者の補聴器購入助成の実施を求めています。

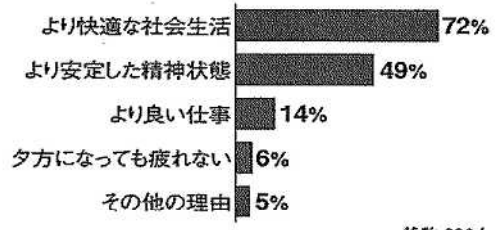
1台15万～50万円超も 生活に役立つ回答多いが…

グラフ1
補聴器をもっと早く使用すべきだったと思いますか?



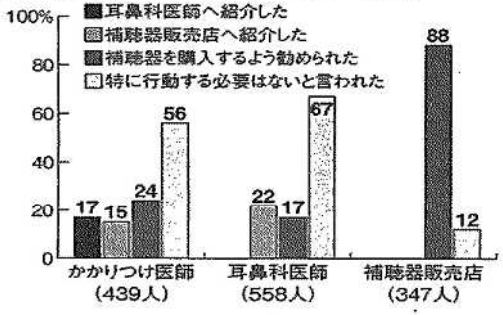
補聴器所有者 421人

「はい」と答えた人へ
補聴器をもっと早く使用していたら得られたと思う事は以下のどれですか?(複数回答可)

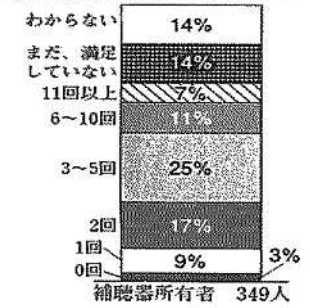


基数 226人

グラフ2
補聴器所有への専門家の対応・推薦



グラフ3
あなたが満足するまでに補聴器の調整を何回しましたか?



(注)調査は難聴や補聴器活用の実態を把握するのが目的。2012年から３年に１度実施し、18年は3回目。補聴器製造10社でつくる日本補聴器工業会(東京都千代田区)が主体となり、福祉用具の普及をすすめるテクノエイド協会（東京都新宿区）が後援、欧州補聴器工業会が協力しました（昨年11月20日付一部既報）。難聴者1306人をふくむ47都道府県の１万3710人が対象。海外は13カ国が参加しています。